

令和6年（2024）12月 入域観光客数概況（確定版）

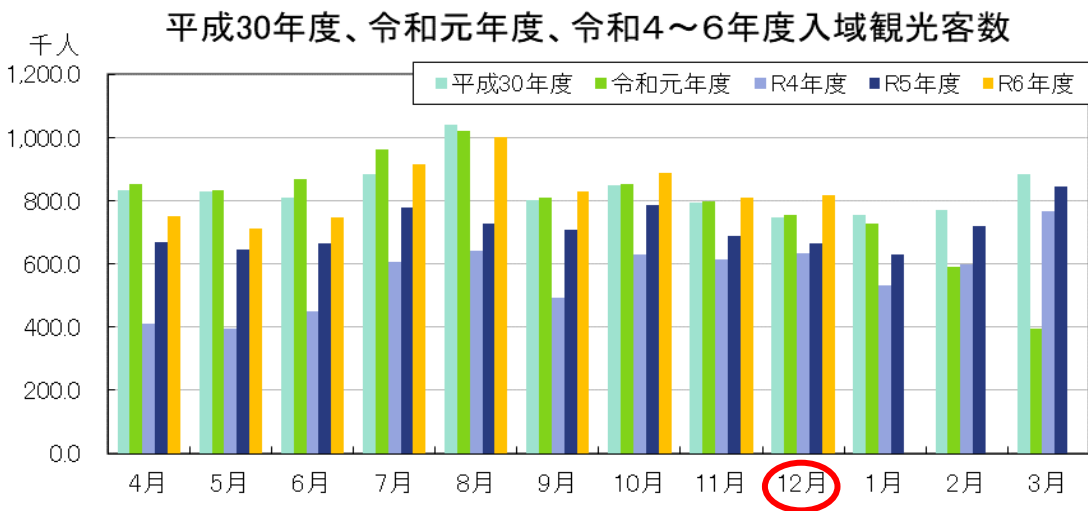
81万6,400人
対前年（R5）同月比 +14万9,700人、+22.5%
～12月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年1月27日速報版公表
②令和7年3月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
国内客	612,300 人	571,500 人	+ 40,800 人	+ 7.1%	75.0%
空路	610,500 人	566,500 人	+ 44,000 人	+ 7.8%	74.8%
海路	1,800 人	5,000 人	△ 3,200 人	△ 64.0%	0.2%
外国人客	204,100 人	95,200 人	+ 108,900 人	+ 114.4%	25.0%
空路	130,900 人	89,000 人	+ 41,900 人	+ 47.1%	16.0%
海路	73,200 人	6,200 人	+ 67,000 人	+ 1080.6%	9.0%
合計	816,400 人	666,700 人	+ 149,700 人	+ 22.5%	100.0%



国内客 入域状況

12月は、先月に引き続き修学旅行のシーズンであったことや航空便の輸送実績が全体的に好調であったこと等から前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客数は単月として過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,400 人	282,500 人	+ 15,900 人	+ 5.6%	48.7%
関西方面	125,000 人	116,200 人	+ 8,800 人	+ 7.6%	20.4%
福岡方面	79,200 人	75,200 人	+ 4,000 人	+ 5.3%	12.9%
名古屋	51,500 人	46,100 人	+ 5,400 人	+ 11.7%	8.4%
その他	58,200 人	51,500 人	+ 6,700 人	+ 13.0%	9.5%
合計	612,300 人	571,500 人	+ 40,800 人	+ 7.1%	100.0%

外国客 入域状況

12月は、航空路線において那覇－台中路線(12月2日～)、那覇－釜山路線(12月19日～)の新規就航があったこと、年末の旅行需要の高まりから輸送実績が全体的に好調であったこと等から前年同月を上回った。特に、台湾、香港は単月として過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。
1月以降については、春節期間中の旅行需要が期待できるほか、台湾・中国本土・香港発着クルーズ船の寄港が複数回予定されていること等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【韓国】ジンエアーは石垣－仁川路線(4月3日～)を新規就航予定
- ▶【香港】香港エクスプレスは石垣－香港路線(4月3日～)のデ일리ー運航を再開予定
- ▶【シンガポール】ジェットスターアジアは那覇－シンガポール路線(4月1日～)を週4便から週6便に増便予定
- ▶【台湾】スターラックス航空は那覇－台中路線(3月30日～)を週4便から週6便に増便予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比
台湾	62,600 人	35,700 人	+ 26,900 人	+75.4%	30.7%
韓国	45,700 人	26,900 人	+ 18,800 人	+69.9%	22.4%
中国本土	23,800 人	4,200 人	+ 19,600 人	+466.7%	11.7%
香港	24,500 人	16,300 人	+ 8,200 人	+50.3%	12.0%
アメリカ	5,700 人	2,000 人	+ 3,700 人	+185.0%	2.8%
タイ	2,700 人	400 人	+ 2,300 人	+575.0%	1.3%
シンガポール	4,300 人	2,600 人	+ 1,700 人	+65.4%	2.1%
その他	34,800 人	7,100 人	+ 27,700 人	+390.1%	17.1%
合計	204,100 人	95,200 人	+ 108,900 人	+114.4%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等23,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R6年度	R5年度	増減率	構成比	R6年度	R5年度	増減率	構成比
台湾	49,100 人	35,500 人	+38.3%	37.5%	13,500 人	200 人	+6650.0%	18.4%
韓国	44,700 人	26,800 人	+66.8%	34.1%	1,000 人	100 人	+900.0%	1.4%
中国本土	7,900 人	4,100 人	+92.7%	6.0%	15,900 人	100 人	+15800.0%	21.7%
香港	16,300 人	14,300 人	+14.0%	12.5%	8,200 人	2,000 人	+310.0%	11.2%
アメリカ	2,400 人	1,700 人	+41.2%	1.8%	3,300 人	300 人	1000.0%	4.5%
タイ	2,200 人	400 人	+450.0%	1.7%	500 人	0 人	皆増	0.7%
シンガポール	3,600 人	2,600 人	+38.5%	2.8%	700 人	0 人	皆増	1.0%
その他	4,700 人	3,600 人	+30.6%	3.6%	30,100 人	3,500 人	+760.0%	41.1%
合計	130,900 人	89,000 人	+47.1%	100.0%	73,200 人	6,200 人	+1080.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等23,300人を含む。

